

One-off sessions

アカデミックセミナー 委員会企画

[ACS7] 2020年度「特定行為看護師の就労環境・就
労内容等の実態調査」報告 企画：日本クリ
ティカルケア看護学会将来構想委員会
座長：菅原 美樹(札幌市立大学 看護部)

[ACS7-01] [委員会企画セッション] 2020年度「特定行為
看護師の就労環境・就労内容等の実態調査」報
告

○後藤 順一¹、○背戸 陽子¹、○戸田 美和子¹、○山口
典子¹、明神 哲也¹、宇都宮 明美¹、菅原 美樹¹ (1.
日本クリティカルケア看護学会将来構想委員会)

アカデミックセミナー 委員会企画

[ACS8] これからの人工呼吸ケアと教育 企画：日本
クリティカルケア看護学会人工呼吸器ケア委
員会

[ACS8-01] [委員会企画セッション] これからの人工呼吸ケ
アと教育

○辻本 雄大¹、卯野木 健¹、道又 元裕¹、白坂 雅子
¹、立野 淳子¹、濱本 実也¹、植村 桜¹、露木 菜緒¹、後
藤 順一¹、坂木 孝輔¹ (1. 日本クリティカルケア看護
学会人工呼吸ケア委員会)

アカデミックセミナー 委員会企画

[ACS9] 科学の情報を活用してみんなで変えていこ
う！せん妄ケア！！ 企画：日本クリティカ
ルケア看護学会せん妄ケア委員会

[ACS9-01] [委員会企画セッション] 科学の情報を活用して
みんなを変えていこう！せん妄ケア！！

○古賀 雄二¹、○五十嵐 真¹、○雀地 洋平¹、○花山
昌浩¹、○古厩 智美¹、○茂呂 悦子¹、○有田 孝
¹、藤野 智子¹ (1. 日本クリティカルケア看護学会せ
ん妄ケア委員会)

アカデミックセミナー 委員会企画

[ACS7] 2020年度 「特定行為看護師の就労環境・就労内容等の実態調査」報告 企画：日本クリティカルケア看護学会将来構想委員会

座長:菅原 美樹(札幌市立大学 看護部)

[ACS7-01] [委員会企画セッション] 2020年度 「特定行為看護師の就労環境・就労内容等の実態調査」報告

○後藤 順一¹、○背戸 陽子¹、○戸田 美和子¹、○山口 典子¹、明神 哲也¹、宇都宮 明美¹、菅原 美樹¹ (1. 日本クリティカルケア看護学会将来構想委員会)

[ACS7-01] [委員会企画セッション] 2020年度「特定行為看護師の就労環境・就労内容等の実態調査」報告

○後藤 順一¹、○背戸 陽子¹、○戸田 美和子¹、○山口 典子¹、明神 哲也¹、宇都宮 明美¹、菅原 美樹¹（1. 日本クリティカルケア看護学会将来構想委員会）

Keywords: 特定行為、診療報酬改定

〈司会〉菅原美樹 札幌市立大学

〈演者〉後藤順一 河北総合病院 看護部、背戸陽子 日本医科大学附属病院 看護部、戸田美和子 倉敷中央病院 看護部、山口典子 長崎大学病院 看護部

2015年10月から特定行為研修制度が開始された。現在、特定行為研修機関は、大学や専門学校などの教育機関や、病院などの医療機関を含め全国に222機関が存在し（2020年8月時点）、その環境下で特定行為研修を修了した看護師は現在17982人が存在している（2020年7月時点）。しかし、その特定行為研修を修了した看護師が、実際にどのような就労環境に配属され、取得した特定行為をどのように実践しているのか、また病院の看護管理者が、特定行為研修を修了した看護師をどのような処遇で受け入れ、特定行為を活用する就労環境を提供しているのかを、全国規模で調査している報告は見られない。

特定行為研修修了者の就労環境と就労内容を把握するとともに、特定行為研修修了者が医療施設で就労するための今後の課題を明確化することを目的として、2021年3月に実施した調査結果を報告する。これらの調査結果をもとに、特定行為研修修了者の活用、また、医師等の働き方改革の推進を視野に入れた業務変革のための診療報酬改定へ要望などの委員会活動を報告するとともに皆様からの意見をいただく機会としたいと考える。

なお本調査研究は、病院や医療施設に所属する特定行為研修を修了した看護師を対象とした Web（Google）によるアンケート調査で実施した。調査項目は21項目（選択、自由記載）で所要時間は10～20分程度であった。アンケートは無記名であり、個人を識別できる内容は含まない。また、アンケートは自由意思で回答するように設定した。調査データの管理に関しては特段の注意を払い、調査研究で得られた情報はこの研究目的以外には使用しない。アンケートへの回答をもって、研究参加への同意とした。本調査研究は日本クリティカルケア看護学会倫理委員会の承認を得て実施した。

アカデミックセミナー 委員会企画

[ACS8] これからの人工呼吸ケアと教育 企画：日本クリティカルケア看護学会人工呼吸器ケア委員会

[ACS8-01] [委員会企画セッション] これからの人工呼吸ケアと教育

○辻本 雄大¹、卯野木 健¹、道又 元裕¹、白坂 雅子¹、立野 淳子¹、濱本 実也¹、植村 桜¹、露木 菜緒¹、後藤 順一¹、坂木 孝輔¹（1. 日本クリティカルケア看護学会人工呼吸器ケア委員会）

[ACS8-01] [委員会企画セッション] これからの人工呼吸ケアと教育

○辻本 雄大¹、卯野木 健¹、道又 元裕¹、白坂 雅子¹、立野 淳子¹、濱本 実也¹、植村 桜¹、露木 菜緒¹、後藤 順一¹、坂木 孝輔¹ (1. 日本クリティカルケア看護学会人工呼吸ケア委員会)

Keywords: 人工呼吸ケア、教育、ニーズ調査

人工呼吸ケア委員会では、質の高い人工呼吸ケアを広く啓発するため、これまで人工呼吸ケアに必要な基礎知識や最新の知見に関するセミナー、あるいは人工呼吸器離脱シミュレーション教育などの実践的な教育を企画・提供してきた。COVID-19によって教育の提供方法は大きく変わりつつあるが、今後も臨床のニーズに沿った充実した教育を提供したいと考えている。ところで、重症 COVID-19患者の治療においては、人工呼吸器や ECMO の導入が検討され、これらを管理・看護できる看護師への期待が高まっている。一方、患者数の増加により慣れないスタッフが対応せざるを得ない現状も明らかになってきており、臨床では教育にかかわるニーズが変化していることが予測される。

そこで、「人工呼吸器及び ECMO に関する教育ニーズについての調査」を行い、臨床現場における実態の把握を行った。調査期間は2021年1月16日～2月17日で、学会員に対してメールにて web アンケート調査への協力を依頼した。なお、調査は無記名で実施した。

今回の交流集会では、調査結果から明らかになった臨床での教育ニーズと、それを踏まえて委員会が企画する新たな教育について報告する。

アカデミックセミナー 委員会企画

[ACS9] 科学の情報を活用してみんなで変えていこう！せん妄ケア！！ 企画：日本クリティカルケア看護学会せん妄ケア委員会

[ACS9-01] [委員会企画セッション] 科学の情報を活用してみんなで変えていこう！せん妄ケア！！

○古賀 雄二¹、○五十嵐 真¹、○雀地 洋平¹、○花山 昌浩¹、○古厩 智美¹、○茂呂 悦子¹、○有田 孝¹、藤野 智子¹（1. 日本クリティカルケア看護学会せん妄ケア委員会）

[ACS9-01] [委員会企画セッション] 科学の情報を活用してみんなで変えて いこう！せん妄ケア！！

○古賀 雄二¹、○五十嵐 真¹、○雀地 洋平¹、○花山 昌浩¹、○古厩 智美¹、○茂呂 悦子¹、○有田 孝¹、藤野 智子¹（1. 日本クリティカルケア看護学会せん妄ケア委員会）

Keywords: せん妄

せん妄患者の看護は、我々看護師が常に頭を悩ませる問題の一つである。

せん妄ケアや予防に関しての様々なガイドライン等が発表されているが、どう取り入れて活用すればよいかと悩んだり、自施設ではなかなか解決しない問題や、今さら聞けないせん妄についての疑問など、一人で解決出来ない問題も多い。

そこで今回、日常の苦慮しているせん妄患者の看護に関する質問を広く募り、せん妄ケア委員会メンバーが一問一答形式で、せん妄ケアの解決策と一緒に考える企画とした。

ぜひ日頃の困りごとや悩み事のお便り・メッセージをお寄せください